

1

1 神のみごころによるキリスト・イエスの使徒パウロから、キリスト・イエスにある**恵実なエペソの聖徒**たちへ。

2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、**恵み**と平安があなたがたにありますように。

3 私たちの主イエス・キリストの父である神が**ほめた**たえられますように。神はキリストにあって、**天上**にあるすべての**霊的**祝福をもって私たちを祝福してくださいました。

4 すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方**に**あって私たちを選び、**御前に聖なる、傷のない**者にしようとしたのです。

5 神は、**みごころの良し**とすることで**ご自分の子**にしようとして、愛をもって**あらかじめ**定めておられました。

6 それは、神がその愛する方**に**あって私たちに与えてくださった**恵みの栄光**が、**ほめたたえられる**ためです。

7 このキリストにあって、**私たちはその血**による贖い、**背きの罪の赦し**を受けています。これは神の豊かな**恵み**によることです。

8 この恵みを、神はあらゆる**知恵と恩慮**をもって**私たち**の上にあふれさせ、

9 **みごころの奥義**を私たちに知らせてくださいました。その**奥義**とは、キリストにあって神が**あらかじめ**お立てになつた**みむね**にしたがひ、

10 時が満ちて**計画**が実行に移され、**天にあるもの**も地にあるものも、**一切のもの**が、キリストにあって、**一つに**集められることです。

11 またキリストにあって、**私たちは御国**を受け継ぐ者となりました。すべてを**みごころ**による**計画**のままに行う方の**目的**にしたがひ、**あらかじめ**そのように定められていたのです。

12 それは、**前から**キリストに**望み**を置いていた**私たちが**、**神の栄光**を**ほめたたえる**ためです。

13 このキリストにあって、**あなたがたもまた**、**真理**のことば、**あなたがたの救いの福音**を聞いてそれを信じたことにより、**約束の聖霊**によって**証印**を押されました。

14 聖霊は**私たちが御国**を受け継ぐことの保証です。このことは、**私たちが贖われて神のもの**とされ、**神の栄光**が**ほめたたえられる**ためです。

1

15 こういうわけで私も、主イエスに対するあなたがたの**信仰**と、すべての**聖徒**に対する愛を聞いていますので、

16 **祈るときには**、あなたがたのことを思い、**絶えず感謝**しています。

17 どうか、**私たちの主イエス・キリストの神**、**栄光の父**が、**神を知るための知恵と啓示の御霊**を、あなたがたに与えてくださいますように。

18 また、あなたがたの心の目**が**はつきり見えるようになって、**神の召し**により与えられる**望み**がどのようなものか、**聖徒たちが受け継ぐもの**が**どれほど栄光**に富んだものか、

19 また、**神の大能の力の働き**によって**私たち**信じる者に働く**神のすぐれた力**が、**どれほど偉大なものである**かを、**知ることが**できますように。

20 この**大能の力**を神はキリストのうち**に働かせて**、キリストを死者の中から**よみがえらせ**、**天上でご自分の右の座**に着かせて、

21 **すべての支配、権威、権力、主権**の上に、**また、今の世**だけでなく、**次に来る世**においても、**となえられる**すべての**名**の上に置かれました。

22 また、**神はすべてのものをキリストの足の下**に従わせ、**キリストを**、**すべてのもの**の上に立つかしらとして**教会**に与えられました。

23 教会はキリストのからだであり、**すべてのもの**をすべてのもので**満ち**す方が**満ちて**おられるところ



2

- 1 さて、あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいった者であり、
- 2 かつては、それらの罪の中にあつてこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従つて歩んでいました。
- 3 私たちもみな、不従順の子らの中にあつて、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。
- 4 しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださいました。その大きな愛のゆえに、
- 5 背きの中に死んでいた私たちを、キリストとともに生かしてくださいました。あなたがたが救われたのは恵みによるのです。
- 6 神はまた、キリスト・イエスにあつて、私たちをとにもよみがえらせ、ともに天上に座らせてくださいました。
- 7 それは、キリスト・イエスにあつて私たちに与えられた慈愛によつて、この限りなく豊かな恵みを、来たるべき世々に示すためでした。
- 8 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によつて救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。
- 9 行いによるものではありません。だれも誇ることをないためです。
- 10 実に、私たちは神の作品であつて、良い行いをするためにキリスト・イエスにあつて造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。

不従順.
罪. 背き → 救い.
恵み

2

- 11 ですから、思い出してください。あなたがたはかつて、肉においては異邦人でした。人の手で肉に施された、いわゆる「割礼」を持つ人々からは、無割礼の者と呼ばれ、
- 12 そのころは、キリストから遠く離れ、イスラエルの民から除外され、約束の契約については他国人で、この世にあつて望みもなく、神もない者たちでした。
- 13 しかし、かつては遠く離れていたあなたがたも、今ではキリスト・イエスにあつて、キリストの血によつて近い者となりました。
- 14 実に、キリストこそ私たちの平和です。キリストは私たち二つのものを一つにし、ご自分の肉において、隔ての壁である敵意を打ち壊し、
- 15 様々な規定から成る戒めの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、この二つをご自分において新しい一人の人に造り上げて平和を実現し、
- 16 二つのものを一つのからだとして、十字架によつて神と和解させ、敵意を十字架によつて滅ぼされました。
- 17 また、キリストは来て、遠くにいたあなたがたに平和を、また近くにいた人々にも平和を、福音として伝えられました。
- 18 このキリストを通して、私たち二つのものが、一つの御霊によつて御父に近づくことができるのです。
- 19 こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。
- 20 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。
- 21 このキリストにあつて、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。
- 22 あなたがたも、このキリストにあつて、ともに築き上げられ、御霊によつて神の御住まいとなるのです。

敵意 → 平和



21画 奥義

3a

3

- 1 とういうわけで、あなたがた異邦人のために、私パウロはキリスト・イエスの囚人となっています。
- 2 あなたがたのために私に与えられた神の恵みの務めについては、あなたがたはすでに聞いたことでしょう。
- 3 先に短く書いたとおり、**奥義が啓示**によって私に知らされました。
- 4 それを読めば、私がキリストの**奥義**をどう理解しているかがよく分かるはずですよ。
- 5 この**奥義**は、前の時代には、今のように入りの子らに知らされていませんでしたが、今は御霊によって、キリストの聖なる使徒たちと預言者たちに啓示されています。
- 6 それは、福音により、キリスト・イエスにあつて、異邦人も共同の相続人になり、ともに同じからだに連なつて、ともに約束にあずかる者になるということです。
- 7 私は、神の力の働きによって私に与えられた神の恵みの賜物により、この福音に仕える者になりました。
- 8 すべての聖徒たちのうちで最も小さな私に、この恵みが与えられたのは、キリストの測り知れない富を福音として異邦人に宣べ伝えるためであり、
- 9 また、万物を創造した神のうちに世々隠されていた**奥義の実現**がどのようなものかを、すべての人に明らかにするためです。
- 10 これは、今、天上にある**支配と權威に、教会を通して**神のきわめて豊かな**知恵**が知らされるためであり、
- 11 私たちの主キリスト・イエスにおいて成し遂げられた、**永遠のご計画**によるものです。
- 12 私たちはこのキリストにあつて、キリストに対する**信仰**により、**確信**をもって大胆に神に近づくことができます。
- 13 ですから、私があなたがたのために**苦難**にあつてい
- 14 ることで、**落胆**することのないようお願いいたします。
- 15 私が受けている**苦難**は、あなたがたの**栄光**なのです。

(注) 恵みの奥義

3

- 14 とういうわけで、私は膝をかがめて、
- 15 天と地にあるすべての家族の、「家族」という呼び名の元である御父の前に祈ります。
- 16 どうか御父が、その**栄光の豊かさ**にしたがつて、内なる人に働く**御霊**により、**力**をもってあなたがたを強めてくださいますように。
- 17 **信仰**によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。そして、**愛に根ざし、愛に基礎を置いて**いるあなたがたが、
- 18 すべての**聖徒**たちとともに、その**広さ、長さ、高さ、深さ**がどれほどであるかを理解する**力**を持つようになり、
- 19 人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができま
- 20 すように。そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように。
- 21 どうか、私たちのうちに働く**御力**によって、私たちが願うところ、**思うところのすべて**をはるかに超えて行
- 22 うことのできる方に、
- 23 教会において、またキリスト・イエスにあつて、**栄光**が、**世々限りなく、とこしえまでもありますように**。アーメン。

キリスト・イエス

暗い、透い

愛に満ちた心

愛の海

3b



4a

4

- 1 さて、主にある囚人の私はあなたがたに勧めます。あなたがたは、召されたその召しにふさわしく歩みなさい。
- 2 謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに耐え忍び、
- 3 平和の絆で結ばれて、御霊による一致を熱心に保ちなさい。
- 4 あなたがたが召された、その召しの望みが一つであったのと同じように、からだは一つ、御霊は一つです。
- 5 主はひとり、信仰は一つ、バプテスマは一つです。
- 6 すべてのものの上であり、すべてのものを貫き、すべてのもののうちにおられる、すべてのものの父である神はただひとりです。
- 7 しかし、私たちは一人ひとり、キリストの賜物の量りにしたがって恵みを与えられました。
- 8 そのため、こう言われています。「彼はいと高き所に上ったとき、捕虜を連れて行き、人々に贈り物を与えられた。」
- 9 「上った」ということは、彼が低い所、つまり地上に降られたということではなくて何でしょうか。
- 10 この降られた方ご自身は、すべてのものを満たすために、もろもろの天よりも高く上られた方でもあります。
- 11 こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。
- 12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。
- 13 私たちはみな、神の御子に対する信仰と知識において一つとなり、一人の成熟した大人となつて、キリストの満ち満ちた身分にまで達するのです。
- 14 こうして、私たちはもはや子どもではなく、人の悪巧みや人を欺く悪賢い策略から出た、どんな教えの風にも、吹き回されたり、もてあそばれたりすることがなく、
- 15 むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において、かしらであるキリストに向かって成長するので
- 16 キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わされ、つなぎ合わされ、それぞれの部分その分に応じて働くことにより成長して、愛のうちに建てられることとなります。

預言者に向かい
→ ばらばら

4

- 17 ですから私は言います。主にあつて厳かに勧めます。あなたがたはもはや、異邦人がむなしい心で歩んでいるように歩んではなりません。
- 18 彼らは知性において暗くなり、彼らのうちにある無知と、頑なな心のゆえに、神のいのちから遠く離れています。
- 19 無感覚になつた彼らは、好色に身を任せて、あらゆる不潔な行いを貪るようになっていきます。
- 20 しかしあなたがたは、キリストをそのように学んだものではありません。
- 21 ただし、本当にあなたがたがキリストについて聞き、キリストにあつて教えられているとすれば、です。真理はイエスにあるのですから。
- 22 その教えとは、あなたがたの以前の生活について言えば、人を欺く情欲によつて腐敗していく古い人を、あなたがたが脱ぎ捨てること、
- 23 また、あなたがたが霊と心において新しくされ続け、
- 24 真理に基づく義と聖をもって、神にかたどり造られた新しい人を着ることでした。
- 25 ですから、あなたがたは偽りを捨て、それぞれ隣人に対して真理を語りなさい。私たちは互いに、からだの一部分なのです。
- 26 怒つても、罪を犯してはなりません。憤つたまま日が暮れるようであつてはいけません。
- 27 悪魔に機会を与えないようにしなさい。
- 28 盗みをしている者は、もう盗んではいけません。むしろ、困っている人に分け与えるため、自分の手で正しい仕事をし、労苦して働きなさい。
- 29 悪いことばを、いっさい口から出してはいけません。むしろ、必要ときに、人の成長に役立つことばを語り、聞く人に恵みを与えなさい。
- 30 神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によつて証印を押されているのです。
- 31 無慈悲、憤り、怒り、怒号、ののしりなどを、一切の悪意とともに、すべて捨て去りなさい。
- 32 互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださいました。

(ヨセフの赦し Gen 50:)

4c

(モセ)

4b



5a

5

聖徒にふさわしい 十字架

- 1 ですから、愛されている子どもらしく、神に倣う者となりなさい。
- 2 また、愛のうちに歩みなさい。キリストも私たちを愛して、私たちのために、ご自分を神へのささげ物、またいけにえとし、芳ばしい香りを献げてくださったしました。
- 3 あなたがたの間では、聖徒にふさわしく、淫らな行いも、どんな汚れも、また貪りも、口にするこゝろとしてはいけません。
- 4 また、わいせつなことや、愚かなおしやべり、下品な冗談もそうです。これらは、ふざわしくありません。むしろ、口にすべきは感謝のことばです。
- 5 このことをよく知っておきなさい。淫らな者、汚れた者、貪る者は偶像礼拝者であつて、こういう者はだれも、キリストと神との御国を受け継ぐことができません。
- 6 だれにも空しいことばでだまされてはいけません。こういう行いのゆえに、神の怒りは不従順の子らに下るのです。
- 7 ですから、彼らの仲間になつてはいけません。

不従順 汚れ → 愛

Godly 聖徒

5

- 8 あなたがたは以前は闇でしたが、今は、主にあつて光となりました。光の子どもとして歩みなさい。
- 9 あらゆる善悪と正義と真実のうちに、光は実を結ぶのです。
- 10 何が主に喜ばれることなのかを吟味しなさい。
- 11 実を結ばない暗闇のわざに加わらず、むしろ、それを明るみに出さなさい。
- 12 彼らがひそかに行っていることは、口にするのも恥ずかしいことなのです。
- 13 しかし、すべてのものは光によって明るみに引き出され、明らかにされます。
- 14 明らかにされるものはみな光だからです。それで、こう言われています。「眠っている人よ、起きよ。死者の中から起き上がれ。そうすれば、キリストがあなたを照らされる。」
- 15 ですから、自分がどのように歩んでいるか、あなたがたは細かく注意を払いなさい。知恵のない者としてではなく、知恵のある者として、
- 16 機会を十分に活かさなさい。悪い時代だからです。
- 17 ですから、愚かにならないで、主のみこころが何であるかを悟りなさい。
- 18 また、ぶどう酒に酔つてはいけません。そこには放蕩があるからです。むしろ、御霊に満たされなさい。
- 19 詩と賛美と霊の歌をもつて互いに語り合い、主に向かつて心から賛美し、歌いなさい。
- 20 いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって、父である神に感謝しなさい。

やみ → 光

5b

神に近づく

正義 知恵

光子 義子

ヨハネ1: 主との光

神に近づく 照らされる



5

- 21 キリストを恐れて、互いに従い合いなさい。
- 22 妻たちよ。主に従うように、自分の夫に従いなさい。
- 23 キリストが教会のかしらであり、ご自分がそのからだの救い主であるように、夫は妻のかしらなので。
- 24 教会がキリストに従うように、妻もすべてにおいて夫に従いなさい。
- 25 夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。
- 26 キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、
- 27 ご自分で、しみや、しわや、そのようなものが何一つない、聖なるもの、傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。
- 28 同様に夫たちも、自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する人は自分自身を愛しているのです。
- 29 いまだかつて自分の身を憎んだ人はいません。むしろ、それを養い育てます。キリストも教会に対してそのようになるのです。
- 30 私たちはキリストのからだの部分だからです。
- 31 「それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである。」
- 32 この奥義は偉大です。私は、キリストと教会を指し合っていていっているのです。
- 33 それはそれとして、あなたがたもそれぞれ、自分の妻を自分と同じように愛しなさい。妻もまた、自分の夫を敬いなさい。

6

- 1 子どもたちよ。主にあって自分の両親に従いなさい。これは正しいことなのです。
- 2 「あなたの父と母を敬え。」これは約束を伴う第一の戒めです。
- 3 「そうすれば、あなたは幸せになり、その土地であなたの日々は長く続く」という約束です。
- 4 父たちよ。自分の子どもたちを怒らせてはいけません。むしろ、主の教育と訓戒によって育てなさい。
- 5 奴隷たちよ。キリストに従うように、恐れおのいて真心から地上の主人に従いなさい。
- 6 ご機嫌取りのような、うわべだけの仕方ではなく、キリストのしもべとして心から神のみこころを行いなさい。
- 7 人ではなく主に仕えるように、喜んで仕えなさい。
- 8 奴隷であつても自由人であつても、良いことを行えば、それぞれ主からその報いを受けることを、あなたがたは知っています。
- 9 主人たちよ。あなたがたも奴隷に対して同じようにしなさい。脅すことはやめなさい。あなたがたは、彼らの主、またあなたがたの主が天におられ、主は人を差別なさらないことを知っているのです。

6

- 10 終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。
- 11 悪魔の策略に対して堅く立つことができるように、神のすべての武器を身に着けなさい。
- 12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。
- 13 ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、一切を成し遂げて堅く立つことができるように、神のすべての武器を取りなさい。
- 14 そして、堅く立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、
- 15 足には平和の福音の備えをはきなさい。
- 16 これらすべての上に、信仰の盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢をすべて消すことができます。
- 17 救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち神のこゝとばを取りなさい。
- 18 あらゆる祈りと願いによって、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのために、目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くして祈りなさい。
- 19 また、私のためにも、私が口を開くときに語るべきことばが与えられて、福音の奥義を大胆に知らせることができるよう、祈ってください。
- 20 私はこの福音のために、鎖につながれながらも使節の務めを果たしています。宣べ伝える際、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。
- 21 私の様子や私が何をしているかを、あなたがたにも分かってもらうために、愛する兄弟、主にある忠実な奉仕者であるティキコがすべてを知らせます。
- 22 ティキコをあなたがたのもとに遣わすのは、ほかでもなく、あなたがたが私たちの様子を知って、心に励ましを受けるためです。
- 23 信仰に伴う、平安と愛が、父なる神と主イエス・キリストから、兄弟たちにありますように。
- 24 朽ちることのない愛をもって私たちの主イエス・キリストを愛する、すべての人とともに、恵みがありますように。

